

令和元年第2回保土ヶ谷区区づくり推進横浜市会議員会議

令和元年6月6日（木）議員団会議終了後～
保土ヶ谷区役所2階 202会議室

次 第

開 会

議題1 令和元年度保土ヶ谷区運営方針について

議題2 令和元年度保土ヶ谷区編成予算 予算概要及び執行計画について

閉 会



基本目標 いつまでも住み続けたいまち ほどがや



基本目標の実現に向け、区民の皆様が一番身近な行政機関として、区民・関係団体・企業等とのつながりを大切にし、地域の課題を皆様とともに考え、地域の特性に応じた行政運営や、誰もが住みやすいまちづくりを推進します。

また、区民の皆様にご信頼され親しまれる区役所づくりをめざし、職員一丸となって日々の業務に取り組んでまいります。

◆ 目標達成に向けた施策 ◆

◆ 暮らしの安全・安心の確保

災害対策として、引き続き自助・共助による減災運動を推進します。また、皆様が安全に安心して暮らせるよう、道路や公園等の維持管理、交通安全対策、防犯、食の安全、様々な困難を抱える家庭の社会的自立に向けた支援などに取り組めます。

◆ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり

誰もが住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、地域における様々な団体と協働しながら、子育てしやすい環境づくり、生活習慣病予防、介護予防などに取り組めます。また、スポーツを通じた健康づくりを推進します。

◆ つながり・支えあいの推進

自治会町内会をはじめとした幅広い分野の関係団体の皆様等との協働を推進するとともに、地域活動や団体間の連携強化を支援します。また、地域での見守り活動の推進や、高齢者や障害のある方への支援、地域の様々な活動の担い手の確保に取り組めます。

◆ 魅力あるまちづくり

自然や歴史・文化などの地域資源を生かした取組や、鉄道駅周辺のまちづくり、交通ネットワークの向上等、持続可能なまちづくりを推進するとともに、区の魅力を高めて発信し、地域への愛着を育みます。

◆ 目標達成に向けた組織運営 ◆

◆ 信頼される区役所づくり

◆ 来庁者へのサービスの充実

来庁者の用件等を丁寧に傾聴し、信頼され、親しまれるサービスを提供します。窓口サービスの効率化や利便性の向上を追求し、正確・適正な事務の執行を実践します。また、庁舎等の環境整備に取り組めます。

◆ 地域との協働の推進

地区担当を中心に、日ごろから地域へ出向き、地域の課題やニーズを的確に把握し、地域貢献に取り組んでいる区民・団体・企業・大学等の皆様と協働して解決に向けて取り組みます。また、地域・行政がともに地域づくりについて学び、地域団体間の情報共有を通して連携を促進します。

◆ 「チーム保土ヶ谷」

職員間のコミュニケーションを大切にして、区役所全体のチーム力を高めます。また、職員一人ひとりが広報マインドを持ち、区の取組を積極的に発信します。

◆ 暮らしの安全・安心の確保



災害対策

災害への備えが各家庭や地域に定着するよう、感震ブレーカーの設置補助など、地域における自助・共助の取組を支援します。また、大地震やゲリラ豪雨等の災害情報を確実かつ迅速に伝達する体制の構築のほか、災害時の衛生対策の充実を図ります。【総務課、福祉保健課、高齢・障害支援課、生活衛生課、土木事務所】

生活の安全・安心

道路や公園等の維持管理や、特に発生件数の多い二輪車や高齢者の事故防止に向けた交通安全啓発、通学路の安全対策を行います。また、振り込め詐欺対策をはじめとする防犯力向上、食中毒・感染症予防、動物の適正飼育、地球温暖化対策などの啓発や、様々な困難を抱える家庭の社会的自立に向けた支援などに取り組みます。【土木事務所、地域振興課、区政推進課、生活衛生課、生活支援課】

◆ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり



子育て

地域で安心して子育てができるよう、公立保育園を活用した妊娠期及び未就学児親子の支援や、親子関係を良くする子育て講座の開催、青少年の健全育成に向けた支援など、様々な場面で子育てをサポートします。【こども家庭支援課、地域振興課】

健康づくり

誰もが健康を維持・増進しながら地域の中でいきいきと活動できるよう、健康づくり、介護予防、スポーツ活動を通じた健康増進などに取り組みます。また、働き・子育て世代の生活習慣病予防を推進するため、運動習慣や適切な食生活の定着を図ります。【福祉保健課、高齢・障害支援課、地域振興課、こども家庭支援課、保険年金課】

◆ つながり・支えあいの推進



つながり

自治会町内会や各団体、区民による地域活動を支援し、横浜国立大学の留学生と地域の方々とが交流する機会を提供するなど、団体間や人と人とのつながりを強化します。また、高齢者や障害のある方誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために、介護・医療・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される体制（地域包括ケアシステム）を推進します。【地域振興課、区政推進課、福祉保健課、高齢・障害支援課、こども家庭支援課】

担い手づくり

地域に関心を持つきっかけづくりや、地域づくりについて学ぶ講座の開催等により、地域活動を担う人材を増やします。また、区民が地域活動・市民活動に参加しやすくするための支援を行います。【区政推進課、地域振興課、福祉保健課】

◆ 魅力あるまちづくり



魅力の向上

保土ヶ谷区ならではの歴史・文化を生かした取組や「ほどがや花憲章」の理念に基づく花や緑あふれる清潔で美しいまちづくりなどを進めます。また、若者を含めた幅広い世代に区の魅力を広報します。【区政推進課、地域振興課、福祉保健課】

まちづくり

星川駅周辺の連続立体交差事業の推進に伴い、開発の機運が高まりつつある星川駅周辺地区について、まちづくりのガイドラインや、バスのアクセス向上について関係局と連携し検討します。【区政推進課、土木事務所】

◆ 信頼される区役所づくり



来庁者へのサービスの充実

来庁者の用件を的確に把握し、丁寧にわかりやすい説明や案内を行います。マイナンバーをはじめとする個人情報の保護に万全の注意を払うとともに、正確・適正な事務の執行により、安心いただけるサービスを提供します。また、庁舎等の整備により、快適にお過ごしいただける環境を作ります。【全職場】

協働の推進

地区担当を中心に地域の皆様と連携し、協働して課題解決に取り組みます。また、様々なデータを利活用して地域の課題を把握し、大学や企業、区内関係機関とも連携しながら、課題解決につなげます。【区政推進課、福祉保健課、総務課、地域振興課、高齢・障害支援課、こども家庭支援課】

その他の事業・取組は、今年度の『「個性ある区づくり推進費」等保土ヶ谷区編成予算』をご覧ください。

(ホームページURL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/kusei/uneihoshin-yosan/yosan/h31yosan.html>)

各職場の取組目標

総務課

「チーム保土ヶ谷」をリードします！

- 来庁者の皆様のさらなる満足度向上や、職員が生き生きと自信を持って働ける職場づくりに向け、職員のスキルアップ支援、執務環境改善に取り組みます。
- 円滑で効果的・効率的な事業執行のために、ICT の活用・ペーパーレス化を進めるとともに、各課業務への支援、係・課の垣根を越えたつながりづくりに向けた取組を進めます。

区政推進課

保土ヶ谷の未来を考え、様々な取組を進めます！

- 若者を含めた幅広い世代の区民の皆様に、保土ヶ谷への愛着を深めていただけるよう、様々な広報媒体を活用して区の魅力や取組などを発信します。
- 地域の情報を積極的に収集し、庁内・関係機関への情報共有や関係団体との協働を進めることで、まちの魅力づくりや地域課題の解決につなげます。

地域振興課

区民の皆様の活動をより一層支援して、協働による地域づくりを進めます！

- 「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」を目指し、自治会町内会をはじめとする地域の様々な団体や区民の皆様の活動を一層支援し、協働による活力ある地域づくりを進めます。

戸籍課

窓口・電話対応にベストを尽くし、マイナンバーなどの個人情報の保護を徹底します！

- 傾聴の姿勢でお客様の目的を的確に把握し、お客様の視点にたった分かりやすい説明と案内を行い、迅速かつ正確に業務を実施します。
- 戸籍・住民登録業務は、区民生活の根幹となる「公証」であり、マイナンバーなどの個人情報の保護を徹底し、お客様に安心していただけるサービスを提供します。
- お客様により分かりやすいご案内を実現するため、案内表示の改善を実施します。

税務課

区民の皆様に信頼される窓口づくりを進めます！

- 来庁者の視点に立って窓口環境を整えます。
- 傾聴の姿勢をもって、迅速・丁寧にわかりやすい言葉で説明を行います。
- 個人情報を適切に管理するとともに、適正公平な賦課徴収を推進します。

区会計室

正確・迅速に会計事務を進めます！

- 丁寧・迅速な窓口対応と円滑な支払い事務を実践します。
- 正確な事務処理と公金の適正管理を徹底します。

福祉保健課

「チーム保土ヶ谷」で、地域の皆様とともに、ほっとなまちづくりを着実に進めます！

- 地域福祉保健計画について、「つながり支えあい、安心していきいきと暮らせるまち ほどがや」を目指し、地域での取組が実感できるように支援しながら第3期計画を推進するとともに、第4期計画の策定に取組みます。
- 福祉や健康づくりに関わる地域の方々が、活動しやすいように、支援や連携を通じた取組を強化します。
- 健康寿命の延伸に向けて、情報提供や、きっかけづくりを通じて、全ての世代が健康の維持・増進をする機運を高めるよう取り組みます。
- 安全・安心な生活のため、感染症の発生を予防する取組と、発生時における迅速な対応を行います。

生活衛生課

区民の皆様が安全で快適に暮らせるよう食の安全や動物の適正飼育を推進します。

- 区民の皆様へ、災害時も含めた暮らしの衛生に関する最新の情報を様々な方法を活用して、分かりやすくお伝えしていきます。特に食中毒予防対策は、講習会を通じ積極的なPRや地域へのサポートを行います。
- 食中毒や感染症等の発生時に、迅速に調査体制を整え、原因究明と拡大防止のための対応をとります。
- 食品取扱施設や理美容所等への立入り検査や講習会を実施し、衛生管理の向上を推進します。特に HACCP を取り入れた衛生管理の取組を具体化し、飲食店、製造業等全ての業種で理解が深まるよう支援します。
- 犬や猫の飼育マナー向上やペット同行避難訓練等、災害時のペット対策の取組を広げていきます。飼い主のいない猫への対策に関して地域への支援を行います。

高齢・障害 支援課

高齢者や障害のある方が、地域で自分らしくいきいきと安心して暮らし
ていけるよう、職員一丸となってサポートします！

- 高齢者の健康増進を促し、介護予防に取り組みます。また、介護が必要な方も、自分らしく暮らせる地域づくりに向けた地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。
- 自立支援協議会を通じ、関係機関が地域課題の解決へ連携した取組ができるよう体制を整え、障害のある方が地域で自分らしく生活ができる環境づくりを支援します。
- 「チーム保土ヶ谷」を実現するために、業務の目的を理解し、自らの役割を果たしながら、区政全般についての関心を持ち、区役所内外への積極的な情報発信に取り組みます。

こども家庭 支援課

未来を担う子どもたちの安心で健やかな育ちを応援します！

- 妊娠・出産時から学齢期まで、障害の有無に関わらず切れ目のない支援を行い、地域で孤立せず、人とつながり、安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。
- 不適切な養育や虐待の予防のための啓発活動を積極的にを行います。
- 保育施設の利用を希望するご家庭が増加する中、利用希望者への細やかな対応と施設整備等により、待機児童ゼロを目指します。
- 保育サービスの向上と、地域における子育て支援の充実に取り組みます。

市立保育園

未来を担う子どもたちが、健やかに成長できるよう、地域の皆様と手をつなぎ、楽しい子育てを応援します！

【向台保育園】

- 恵まれた自然環境の中で、子どもたちが心も体も豊かに毎日笑顔で過ごせる保育園を目指します。
- 地域とのつながりを大切にし、地域の方々から親しみを持たれる保育園を目指します。

【神戸保育園】

- 子ども一人ひとりと向き合い、子どもの求めに丁寧に応答し、保護者にとっての子育てパートナーとなり、笑顔あふれるあたたかな保育をしています。
- 地域の方や様々な施設とのつながりを大切にし、地域に根ざし、親しまれる保育園を目指します。

【岩井保育園】

- 子どもの思いを丁寧に受けとめ、子どもが安心して自分の力を発揮でき、明日へとつながる保育をしています。
- 地域の方との交流や連携を深め、身近で親しみのある保育園を目指します。

【天王町保育園】

- 子ども一人ひとりの思いに寄り添い、共感して、保護者と共に健やかな成長を育んでいきます。
- 地域との連携や交流を深め、身近に感じられる保育園を目指します。

生活支援課

地域に積極的に働きかけ、生活に困っている方を早期に把握し、支援していきます！

- 地域で活動する団体などに直接出向くなどして情報を収集し、生活に困っている方を早期に把握していきます。
- 生活に困っている方から相談を受けたときは、丁寧な聴き取りを行い、全力で支援していきます。
- 生活保護受給者には、自立支援施策などを活用し、援助方針に沿った支援を実施します。

保険年金課

保険年金課サービス標準に則り、事務を行います。

- お客様一人ひとりに合わせた丁寧な対応と、的確・迅速な事務処理により、信頼され親しまれるサービスの提供を目指します。
- 個人情報の管理をはじめ適正に事務を行います。

保土ヶ谷 土木事務所

道路・公園など施設の維持管理のプロフェッショナル集団として使命感を持って取り組みます！

- 皆様からのご要望に親切・丁寧・迅速に対応し、土木事務所がチームとなって道路・下水道・河川・公園等の日常生活に欠かせない施設の適切な維持・管理・修繕及び交通安全対策に全力で取り組みます。
- 災害に備えた準備を進めるとともに災害時には関係する区民と連携して安全安心な生活基盤を確保します。
- 地域の皆様との協働を進めながら信頼関係を深めます。

SDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえた取組

SDGs は、世界が抱える貧困問題をはじめ、気候変動や生物多様性、エネルギーなどの様々な問題を解決し、持続可能な社会をつくるために国連で世界各国が合意した 17 の目標と 169 のターゲットです。区政運営に SDGs を意識するために、目標達成に向けた施策・組織運営に SDGs の 17 の目標との関連性を示しました。

* 主な事業・取組の各項目に、関連する SDGs の目標を示しています。

 <p>1 貧困をなくそう</p>	<p>あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p>	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>各国内及び各国間の不平等を是正する</p>
 <p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>持続可能な生産消費形態を確保する</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>	 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う</p>	 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>	 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>	 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する</p>	 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>	 <p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です</p>	

令和元年度

保土ヶ谷区編成予算 予算概要及び執行計画

《目次》

1	保土ヶ谷区編成予算について	2
2	個性ある区づくり推進費自主企画事業について	
(1)	自主企画事業施策体系	4
(2)	主要事業執行計画	
	災害対策推進事業	5
	ほどがや元気づくり事業	5
	保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業	6
	横浜国立大学留学生の地域交流推進事業	6
	星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業	7
(3)	自主企画事業一覧	8
(4)	統合事業費一覧	17
3	当区からの提案に基づく企画事業について	
(1)	《参考1》区局連携促進事業	18
(2)	《参考2》元気な地域づくり推進事業	19
	《参考》保土ヶ谷区に係る予算のすがた	20

1 保土ケ谷区編成予算について

～「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」に向けて～

地域の課題や特性などを踏まえ、令和元年度は、個性ある区づくり推進費 680,893 千円、区局連携促進事業・元気な地域づくり推進事業 8,830 千円の予算を編成しました。

元年度は、区民の皆様の想いや地域のつながりを大切にしながら、全40事業を推進していきます。また、事業の推進にあたっては、地域との協働や各課との連携を促進し、区役所をあげて全職員が一丸となり「チーム保土ケ谷」で取り組みます。

(1) 個性ある区づくり推進費区分別総括表

(単位：千円)

区 分	本年度予算額	前年度予算額	増△減
自主企画事業費	105,212	105,318	△106
統合事務事業費 ※1	42,391	24,757	17,634
区庁舎・区民利用施設管理費	533,290	528,220	5,070
合 計	680,893	658,295	22,598

※1 「統合事務費」と「統合事業費」の合計。自主企画事業費のうち一部の事業については、本年度予算から「統合事業費」として計上。

(2) 内訳

ア 自主企画事業費（全 40 事業）

(単位：千円)

区分		本年度予算額	前年度予算額	増△減
4 つ の 重 点 施 策	暮らしの安全・安心の確保	30,344	24,222	6,122
	誰もが健やかに暮らせる 環境づくり	20,761	23,390	△2,629
	つながり・支えあいの推進	21,107	18,556	2,551
	魅力あるまちづくり	19,923	22,004	△2,081
信頼される区役所づくり ～「チーム保土ケ谷」の強化～		13,077	17,146	△4,069
合 計		105,212	105,318	△106

イ 統合事務事業費

(単位：千円)

区分	本年度予算額	前年度予算額	増△減
統合事務費	24,908	24,757	151
統合事業費（7事業）※2	17,483	0	17,483
合計	42,391	24,757	17,634

※2 自主企画事業費のうち一部の事業については、本年度予算から「統合事業費」として計上。

ウ 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

区分	本年度予算額	前年度予算額	増△減
区庁舎	97,717	98,062	△345
ほどがや市民活動センター	25,817	25,028	789
土木事務所	8,901	8,684	217
公会堂	56,061	55,751	310
地区センター等	335,873	331,037	4,836
広場・遊び場	2,388	2,158	230
区庁舎・区民利用施設修繕費	6,533	7,500	△967
合計	533,290	528,220	5,070

(3) 当区からの提案に基づく企画事業費

(単位：千円)

区分	本年度予算額	前年度予算額	増△減	
区局連携促進事業 ※3	3,290	5,880	△2,590	
内 訳	星川駅周辺のバス交通アクセス向上 検討事業（道路局）	3,000	0	3,000
	緊急時情報システム運用試行事業（総 務局）	290	290	0
	（保土ヶ谷区バリアフリー基本構想 策定事業）	0	5,590	△5,590
元気な地域づくり推進事業 ※4	5,540	6,156	△616	
内 訳	“輝け、地域力！”事業	1,836	2,173	△337
	地域・まちづくり活動支援事業	1,432	1,592	△160
	保土ヶ谷ほとなまちづくり地区別 計画推進事業	1,072	1,191	△119
	保土ヶ谷区地域づくり大学校（「ほど がや ^{がっこう} 楽考」）事業	1,200	1,200	0
合計	8,830	12,036	△3,206	

※3 個性ある区づくり推進費の財源を活用し、区と局が連携して行う事業。事業所管局に予算計上。

※4 地域の特性に応じて区が事業提案し、市民局予算を用いて実施する事業。

2 個性ある区づくり推進費自主企画事業について

自主企画事業については、昨年度に引き続き、「4つの重点施策」と「信頼される区役所づくり」の5分野にまとめました。

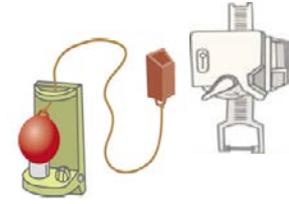
元年度は、新規2事業を含めた全40事業に取り組みます。

(1) 自主企画事業施策体系（全40事業、計：105,212千円）

＜4つの重点施策＞	
◆ 暮らしの安全・安心の確保（全6事業）	30,344千円
<p>災害対策として、引き続き自助・共助による減災運動を推進します。また、皆様が安全に安心して暮らせるよう、交通安全対策、防犯、食の安全、様々な困難を抱える家庭の社会的自立に向けた支援などに取り組みます。</p> <p>《主な事業》災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】、 保土ヶ谷区地域防犯力向上事業、生活保護受給者に対する家計相談支援事業</p>	
◆ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり（全10事業）	20,761千円
<p>誰もが住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、地域における様々な団体と協働しながら、子育てしやすい環境づくり、生活習慣病予防、介護予防などに取り組みます。また、スポーツを通じた健康づくりを推進します。</p> <p>《主な事業》ほどがやhappy子育て～妊娠期からの安心サポート～、ほどがや元気づくり事業</p>	
◆ つながり・支えあいの推進（全10事業）	21,107千円
<p>自治会町内会をはじめとした幅広い分野の関係団体の皆様等との協働を推進するとともに、地域活動や団体間の連携強化を支援します。また、地域での見守り活動の推進や、高齢者や障害のある方への支援、地域の様々な活動の担い手の確保に取り組みます。</p> <p>《主な事業》保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業、 《新》横浜国立大学留学生の地域交流推進事業</p>	
◆ 魅力あるまちづくり（全9事業）	19,923千円
<p>自然や歴史・文化などの地域資源を生かした取組や、鉄道駅周辺のまちづくり、交通ネットワークの向上等、持続可能なまちづくりを推進するとともに、区の魅力を高めて発信し、地域への愛着を育みます。</p> <p>《主な事業》歴史浪漫ほどがや事業、 《新》星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業</p>	
＜信頼される区役所づくり～「チーム保土ヶ谷」の強化～＞（全5事業）	13,077千円
<p>来庁者の用件等を丁寧に傾聴し、信頼され、親しまれるサービスを提供します。窓口サービスの効率化や利便性の向上を追求し、正確・適正な事務の執行を実践します。また、庁舎等の環境整備に取り組みます。</p> <p>《主な事業》「利用しやすい区役所」推進事業</p>	

※太字で記載しました5つの事業については、5～7ページに事業概要を掲載しています。

事業名	令和元年度予算
災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】（総務課）	12,390千円
安全・安心に暮らすことができる保土ヶ谷区の実現のため、危機管理・地域防災力の向上を図ります。	
<p>【事業の進め方】</p> <p>◇感震ブレーカー設置推進事業 自治会町内会向けのチラシ配付やイベント等の機会を捉えた広報に加え、<u>取付方法をホームページでわかりやすく紹介</u>するなど、震災時の火災被害のさらなる軽減に向け、感震ブレーカーの設置を促進</p> <p>◇20万区民の自助・共助による減災運動 風水害や震災対策について、重点月間を定めた広報啓発キャンペーンを開催し、減災行動の推進を図るとともに、次世代の地域防災の担い手となる小中学生に向けた防災啓発を実施</p> <p>◇保土ヶ谷区 防災・地域福祉保健アンケート 「保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業」と連携し、区民の意識や取組実態を把握</p>	
<p>【最近の主な動き】</p> <p>◇4月 感震ブレーカー設置補助申請の受付開始</p> <p>◇5月 天王町駅周辺水害対策協議会の開催 保土ヶ谷区災害対策連絡協議会の開催 保土ヶ谷区防災・地域福祉保健アンケートの発送</p>	
<p>【今後の主なスケジュール】</p> <p>6月～ 出水期における広報啓発キャンペーンの実施</p> <p>6月13日 保土ヶ谷区地域防災拠点管理運営委員会連絡協議会の開催</p> <p>6月30日 天王町駅周辺水害対策訓練の開催</p> <p>9月～ 震災対策を重点としたキャンペーンの実施</p> <p>9月7日 減災運動推進大会の開催</p>	



感震ブレーカー



小学生向けリーフレット

事業名	令和元年度予算
ほどがや元気づくり事業（福祉保健課）	4,168千円
健康寿命を延ばしていくためには、多忙な中で、ご自身の健康に意識が向きにくい「働き・子育て世代」（主に30～50歳代）を中心とした区民の方々へ、健康に関する情報提供やきっかけづくりをすることで、生活習慣病など健康への関心を高めていただけるように、関係団体等と協働して各種の啓発事業を行います。	
<p>【事業の進め方】</p> <p>◇健康づくりに関心を持っていただくため、(1) 試してみたいくなる参加型の健康コンテンツの導入、(2) 楽しみながら学ぶ体験型の健康講座によるムーブメントを醸成。</p> <p>(1) <u>試してみたいくなる参加型の健康コンテンツ</u></p> <p>① 気軽に実践できる短編動画、② 答えが知りたくなるクイズ形式の健康PR、③ すき間時間に試せる手軽な健康ノウハウなど、ホームページを充実（リーフレット“Hodogaya Healthcare Information”でも発信）</p> <p>(2) <u>体験型の健康講座</u>（区民まつりなど既存のイベントを活用した健康啓発も実施）</p> <p>○ 保護者向け：①保護者が集まる子育て支援拠点などの場での簡単な健康チェックを通じた情報提供 ②親子で学ぶ食生活と口腔ケアの体験講座「歯っぴい！おやつクッキング」の開催 ③小中学校のPTAに向けた、更年期に備え健康づくりのポイントを紹介</p> <p>○ 従業員向け：区内中小企業に対して①ニーズに応じた健康講座を協働実施（例：タバコの影響等） ②業種ごとに特有の健康課題に対して、業界団体を通じた情報提供（例：腰痛予防等）</p>	
<p>【最近の主な動き】</p> <p>◇4月～横浜国大と連携し、新生活スタート時の健康管理のコツを紹介</p> <p>◇5月～バランスのよい食事のPR、がん健診の受診啓発リーフレット配布</p> <p>◇5月18日 ほどがや花フェスタ、5月19日 横浜国大清陵祭にて、保健活動推進員や食生活等改善推進員と協働し、健康啓発実施</p>	
<p>【今後の主なスケジュール】</p> <p>6月 横浜FCと協働し健康啓発リーフレットを作成・発行</p> <p>6月～ 「働き・子育て世代」に向けたホームページ情報の充実</p> <p>10月 食生活等改善推進員と協働で時短メニューの開発</p> <p>6月25日 歯っぴい！おやつクッキングの開催</p> <p>8月 区内企業へ健康経営のPRと健康講座の案内送付</p>	



横浜国大清陵祭での健康PR風景

事業名	令和元年度予算
保土ケ谷ほとなまちづくり推進事業（福祉保健課）	2,089千円 (3,161千円)
※上段が自主企画事業費、下段が区配額を含む総事業費	
地域福祉保健計画を推進し、地域、事業者、公的機関が福祉保健などの地域の課題解決に協働で取り組み、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進めます。	
【事業の進め方】	
保土ケ谷ほとなまちづくり推進会議を軸として、第3期計画を引き続き推進するとともに、第4期計画の策定（令和2年度）に向けて、計画の骨子を作成	
◇地域づくりをテーマとした、ほとなまちづくりフォーラムの開催（12月）	
◇地区懇談会へのアドバイザー派遣	
◇次期計画策定に向けた取組	
区民、関係団体等から広く意見を聞きながら、区域及び各地区の課題や現状を把握・分析し、次期計画の骨子に反映します。	
<ul style="list-style-type: none"> ・防災・福祉保健アンケートを実施し、コンサル委託を行い分析 ・地域で活動をしている団体等に対して意見交換を実施 ・イベントを通して子どもへのアンケートを実施 ・骨子案をほとなまちづくり推進会議で検討し、意見をいただき確定 	
【最近の主な動き】	
◇5月 保土ケ谷区防災・福祉保健アンケートの発送	
◇6月5日 第1回ほとなまちづくり推進会議を開催	
	
ほとなまちづくりフォーラム（平成30年度）	
【今後の主なスケジュール】	
7～10月 保土ケ谷区防災・福祉保健アンケートの集計・結果の分析	
10～11月 第2回ほとなまちづくり推進会議の開催	
12月 ほとなまちづくりフォーラムの開催	
2月 第3回ほとなまちづくり推進会議の開催	
3月 第4期計画の骨子を確定	

事業名	令和元年度予算
《新》横浜国立大学留学生の地域交流推進事業（区政推進課）	571千円
地域と留学生との交流を通じて、地域活動の担い手の確保や地域の活性化を図ります。また、地域での活動やイベントへの参加などを通じ、留学生が日本の文化に触れる機会を増やすことで、日本や横浜、保土ケ谷の魅力を見つけてもらうとともに、留学生が地域に対して、自国の文化を発信する機会を増やすことにより、地域との交流を促進します。	
【事業の進め方】	
◇地域の方々と横浜国立大学留学生との交流機会を創出	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統行事やイベント等に留学生が参加しやすくするため、大学を通じた広報や受入地域との調整、参加申込受付等を実施 ・留学生が区の魅力を知り、また、日本文化の理解を深めてもらうため、地域の行事やイベント等に関する解説を通訳を通じて実施 ・ほどがや花フェスタや区民まつり、ほどがや国際フェスタ等、区民が数多く集まるイベントでブース出展を行い、留学生が自国の文化や魅力を発信し、区民と交流する機会を提供 	
【最近の主な動き】	
◇5月18日に「ほどがや花フェスタ」にてブース出展	
<ul style="list-style-type: none"> ・トーゴ、カメルーン、ガーナなど、アフリカ国籍の留学生9人が参加し、花、衣装、音楽などアフリカに関する文化の紹介を通じて、区民との交流を実施 ・併せて同ブースにおいて、国際局と連携し、8月に開催されるTICADVII（第7回アフリカ開発会議）のパネルを展示し、横浜での会議開催をPR 	
	
花フェスタでのブース出展の様子	
【今後の主なスケジュール】	
8月、11月 地域のイベントに参加	
10月19日 区民まつりブース出展	
11月17日 ほどがや国際フェスタブース出展	

事業名	令和元年度予算
-----	---------

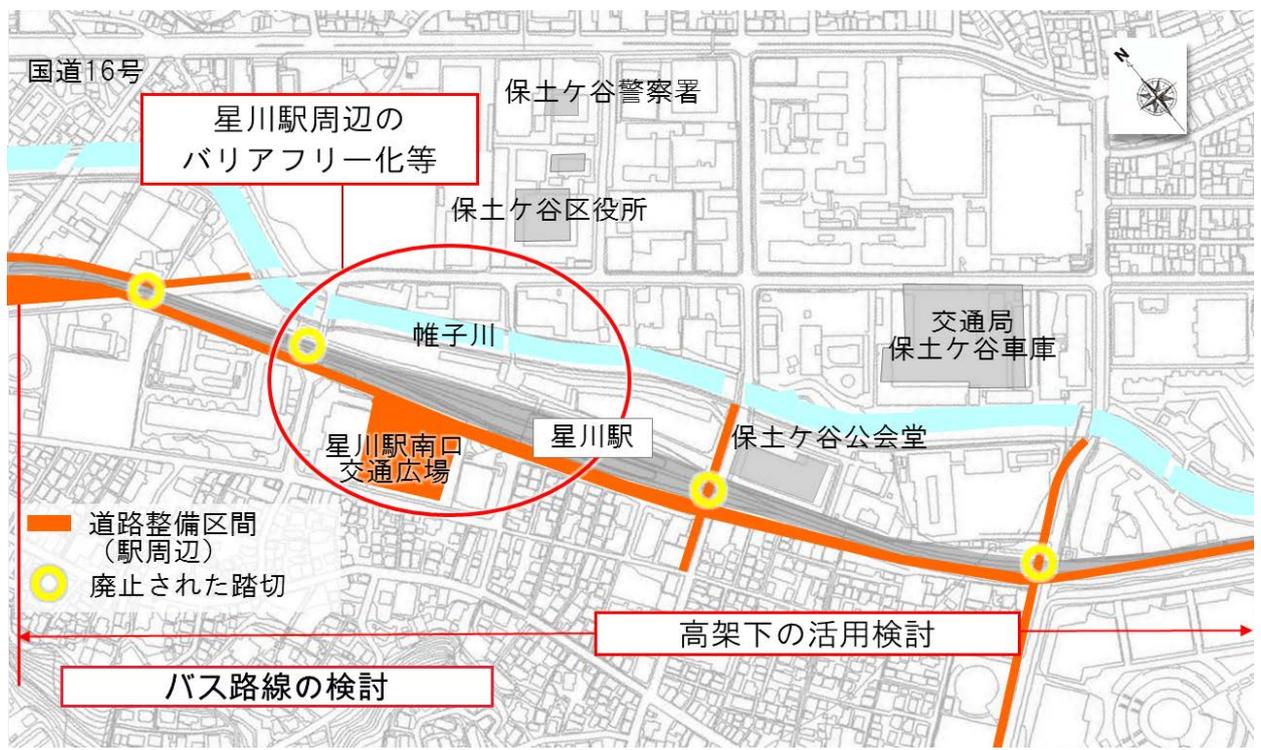
《新》星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業（区政推進課）	5,000千円
--	---------

星川駅周辺では、相模鉄道本線(星川駅～天王町駅)連続立体交差事業による踏切の解消、星川駅南口交通広場、駅施設の整備やバリアフリー基本構想の策定など様々な事業等が行われています。
 地区の魅力を高め区心部の拠点性をさらに強化するため、星川駅周辺の公共施設の整備・検討状況と整合を図りながら、開発等を行う際の星川駅周辺地区のまちづくりガイドラインを検討・策定します。

- 【事業の進め方】**
- ◇開発等の際に配慮すべきガイドラインを策定し、地区におけるまちづくりの基本的な考え方を整理
 - ・星川駅周辺の都市計画や土地利用状況についての現況調査
 - ・星川駅周辺で行われている各事業の進捗状況の把握
 - ・上記を踏まえ、土地利用や交通環境、歩行者空間など、分野別に方針を整理
 - ◇地域の代表者や学識経験者等から構成される区主催の懇談会を開催
 - ◇ガイドライン(案)に対する市民意見募集を実施

※あわせて、踏切解消や駅南口交通広場・周辺道路の整備をふまえたバス路線の検討を区局連携事業で実施

- 【最近の主な動き】**
- ◇3月 保土ヶ谷区バリアフリー基本構想の策定、都市計画マスタープラン保土ヶ谷区プラン改定
 - ◇5～6月 星川駅南口交通広場を利用するバス路線等についてのアンケート調査



- 【今後の主なスケジュール】**
- 5～7月 都市計画や土地利用状況の現況調査、基礎調査
 - 5～8月 懇談会事前調整
 - 9月 地域の代表者や学識経験者等から構成される懇談会の開催
 - 11月～12月 検討対象バス路線周辺のアンケート調査
 - 12月～1月 ガイドライン(案)の作成、市民意見募集
 - 3月 ガイドラインの策定

(3) 自主企画事業一覧【105,212千円・40事業 (前年度105,318千円)】

◆ **暮らしの安全・安心の確保** 【30,344千円】

災害対策として、引き続き自助・共助による減災運動を推進します。また、皆様が安全に安心して暮らせるよう、交通安全対策、防犯、食の安全、様々な困難を抱える家庭の社会的自立に向けた支援などに取り組みます。

1 エコ活動推進事業【2,671千円 (前年度1,030千円)】

横浜市地球温暖化対策実行計画に掲げた「温室効果ガス排出量を2020年度までに22%、2030年度までに30%、2050年度までに80%以上削減(2013年度比)」の目標を達成するため、区民一人ひとりが地球温暖化防止行動に取り組むための支援を行います。

- (1) ほどがや地球温暖化対策推進ネットワーク：メンバー募集・メンバーへの情報提供(通年)
- (2) 「ほどがや花フェスタ2019」への出展(電気自動車チョイモビの展示、温暖化に関するクイズ及びカーボンオフセットに関するアンケートの実施等)(5月)
- (3) 小学生向け環境講座の開催(8月) (4) 環境に配慮した施設見学会の実施(10~11月)
- (5) エコ啓発イベントの開催(区民参加型のプログラム等の実施)(12月)

2 災害対策推進事業(20万区民の自助・共助による減災運動)

【12,390千円 (前年度12,228千円)】

安全・安心に暮らすことができる保土ヶ谷区の実現のため、「20万区民の自助・共助による減災運動」を推進し、地域防災力の向上を図ります。また、災害時の迅速な緊急情報の提供や区本部体制を充実し、危機管理体制の向上を図ります。

- (1) 保土ヶ谷区感震ブレイカー等設置推進事業(4月~)
- (2) 保土ヶ谷区防災・地域福祉保健アンケート(5月)
- (3) 重点月間を定めた広報啓発キャンペーン(6月、9月)
- (4) 減災運動推進大会(9月)
- (5) 保土ヶ谷区防災講習会講師派遣事業(通年)
- (6) 地域防災拠点支援事業(通年)

3 保土ヶ谷区地域防犯力向上事業【5,546千円 (前年度5,493千円)】

警察、地域、関係団体と連携して地域の防犯力を向上することで、街頭犯罪を防止し、安心・安全・快適なまちづくりを推進します。(通年)

4 交通安全対策事業【7,524千円 (前年度3,033千円)】

交通安全運動や交通安全教育を実施して交通事故の防止を推進します。駅周辺の自転車等放置防止のため、「自転車等放置防止監視員」を配置して利用者に啓発します。

また、児童が通行する横断歩道前の退避スペースがない場所について、安全確保できるように退避スペースを整備します。(通年)

	<p>5 暮らしの衛生サポート事業 【1, 066千円 (前年度1, 170千円)】</p> <p>食の安全や動物の適正飼育など、生活衛生に関する正しい知識の普及に努め、区民の安全で快適な生活を応援します。</p> <p>(1) 地域行事における食中毒予防リーフレットの増刷・配布 (9月～)</p> <p>(2) 地域のボランティア活動で食品提供する方を対象とした手洗い講習会の実施 (6月～8月)</p> <p>(3) 食中毒予防やHACCPに関する広報・講習会の実施 (通年)</p> <p>(4) 地域防災拠点における「健康・衛生管理掲示物」の周知 (6月～3月)</p> <p>(5) 災害時ペット対策グッズ (クリアファイル、迷子札) の作成・配布 (5月～)</p>
	<p>6 生活保護受給者に対する家計相談支援事業</p> <p style="text-align: right;">【1, 147千円 (前年度1, 167千円)】</p> <p>生活保護受給者を対象として家計相談支援事業を実施し、扶助費を保護世帯が適切に管理できるよう支援することにより、保護世帯の社会的自立を目指し、また、保護脱却世帯が再び保護世帯に戻らないことを目指します。(通年)</p>
<p>◆ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり 【20, 761千円】</p> <p>誰もが住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、地域における様々な団体と協働しながら、子育てしやすい環境づくり、生活習慣病予防、介護予防などに取り組みます。また、スポーツを通じた健康づくりを推進します。</p>	
	<p>7 スポーツの街ほどがや推進事業【2, 951千円 (前年度4, 268千円)】</p> <p>※統合事業費「5 スポーツ推進委員事業」に一部移行</p> <p>誰もが身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを推進するとともに、区内唯一のプロスポーツチームである横浜FCとの連携を通じて、区民が一流のプレーを観戦する機会などを創出し、スポーツを通じた区民の暮らしの充実やまちの活性化を図ります。(通年)</p>
	<p>8 みんなで育む がやっこ事業【1, 085千円 (前年度1, 023千円)】</p> <p>“がやっこ (元気な保土ヶ谷の子どもたち)” の健全育成を図るため、地域の資産である横浜国立大学と連携し、体験型講座や学生派遣による学習支援等を行います。(通年)</p>
	<p>9 青少年健全育成事業【306千円 (前年度4, 379千円)】</p> <p>※統合事業費「6 青少年指導員事業」に一部移行</p> <p>未来を担う青少年が健やかに成長できる地域環境の実現を図ること、また青少年健全育成の推進を目的として、健全育成の普及活動等に要する経費を補助します。(通年)</p>
	<p>10 がやっこキッズ学び育み事業【2, 329千円 (前年度1, 448千円)】</p> <p>学校以外での学習機会に恵まれない子どもたちが基礎学力や学習習慣を身に付けられるよう、放課後キッズクラブの特別プログラムとして、参加を希望する児童に対する学習アドバイザー等による学習支援を行います。</p> <p>(1) 30年度からの継続 (6校) で事業の実施 (4月～)</p> <p>(2) 新規3校 (藤塚小、仏向小、初音が丘小) での事業開始 (下半期)</p>

11 ほどがや happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～

【5, 304千円 (前年度4, 935千円)】

地域で孤立しない育児ができるように、人とつながる子育てを支援していくため、「安心して子育てできるまち保土ヶ谷」として、妊娠期から学齢期前まで、トータルで子育てをサポートする事業を実施します。なお、実施に当たっては、各地区の特徴を生かし、地域の多世代の方々や子育て関係機関と連携しながら進めます。

- (1) 保育所による妊娠期及び未就学児親子の支援 (通年)
- (2) 地域赤ちゃん教室の開催 (通年)
- (3) 乳幼児健診来庁者への情報提供 (通年)
- (4) 合同育児講座の開催 (6～12月)
- (5) 子育てお役立ち情報の充実 (通年)
- (6) 保育所入所案内の作成 (9月)
- (7) 子育て支援マップの作成 (7月)
- (8) ほめ方しかり方講師養成講座の開催 (6月)、講座の開催 (下半期)
- (9) 地域子育て支援連絡会の開催 (6、2月、エリア別は通年)
- (10) 保育園応援隊の実施 (通年)
- (11) ほどがやこどもニコニコフェスタの開催 (11月)

12 こどもを守ろう！地域子育てつながり事業【2, 103千円 (前年度2, 342千円)】

こども虐待防止について広く区民に関心を持ってもらうとともに、子育て支援に関わる関係機関や地域との連携を強化し、地域の見守りの力を高めます。また、孤立しやすい若年やひとり親の養育者について、貧困対策や女性の自立のための支援を行い、安定した生活につなげます。

- (1) 児童虐待防止啓発事業の実施 (10、11月)
- (2) 要保護児童対策地域協議会実務者会議の開催 (通年)
- (3) 女性の離婚等のための相談事業 (通年)
- (4) 子どもの発達講座事業者向け研修 (6月)、講座開催 (下半期)

13 保土ヶ谷 8020 歯っぴい事業【1, 183千円 (前年度980千円)】

口腔の健康状態は全身に大きく影響することを踏まえ、歯の生え始めからのむし歯予防と20～30歳代の保護者の歯周病予防を重点に、「8020運動は若いうちから」を意識し実技指導等を取り入れた啓発を行います。(通年)

14 ほどがや元気づくり事業【4, 168千円 (前年度2, 068千円)】

30～50歳代を中心とした「働き・子育て世代」の区民を中心に、健康に関する情報提供や、きっかけ作りをすることで自分自身で健康維持・増進をする機運を高めます。

- (1) 健康コンテンツの充実と情報提供：随時
- (2) 体験型の健康講座：歯っぴい！おやつクッキング (6・12月)
更年期に備えた健康づくりのポイント紹介 (10月)
その他、国大や横浜FCとの協働により既存イベントでも啓発予定

15 輝けシニア！2025事業【643千円（前年度1,158千円）】

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしく安心して生活が送れるよう、その人の状態に応じて健康づくり・介護予防及び社会参加等を支援します。また、認知症等により介護が必要な方やその家族を支援するとともに、地域の支え合いの仕組みづくりや介護、医療の関係機関との連携を進めます。

- (1) きらり☆シニア塾の認定・継続支援及び介護予防・健康増進の普及啓発（通年）
- (2) 高齢者が、地域の中で孤立せず、生きがいに満ちた人生を送るために、仲間づくりと生きがいづくりを促進する事業を老人クラブと共催開催
 - ・ことぶき大学講座（7月）、高齢者作品展（11月）、囲碁・将棋大会（1月）
- (3) 認知症サポーター養成講座など、認知症の理解、対応等の普及啓発等（通年）
- (4) 区行動指針を活用した地域包括ケアシステムに関する普及啓発（通年）

16 学齢障害児フレンドサポート事業【689千円（前年度789千円）】

障害児と家族が身近な地域で安心した生活が送れるよう、学齢障害児に外出の機会を設け、地域での余暇活動を支援します。

- (1) 放課後事業の実施（通年）
- (2) 長期休み期間事業の実施（8、3月）
- (3) 休日事業の実施（9、12、2月）

◆ つながり・支えあいの推進 【21,107千円】

自治会町内会をはじめとした幅広い分野の関係団体の皆様等との協働を推進するとともに、地域活動や団体間の連携強化を支援します。また、地域での見守り活動の推進や、高齢者や障害のある方への支援、地域の様々な活動の担い手の確保に取り組みます。

17 広聴の区民協働事業【599千円（前年度8,116千円）】

※30年度は「広聴の区民協働・相談事業」・「広報推進事業」の2事業に分けて計上

※統合事業費「1 広報よこはま発行事業」・「2 広聴の相談事業」に一部移行

「地域のつどい」「区民のつどい」の開催等の区民会議活動を行うほか、区民会議活動を広く区民にお知らせするニュース「やまびこ」を発行します。様々な広報手段を総合的に運用することにより、重層的・多角的な広報活動を展開します。

多様な手段・手法による広報を推進し、より多くの区民に区の魅力や事業等を周知し区政への関心・理解を深めます。

- (1) 「地域のつどい」への参加（6会場/6月）、「区民のつどい」への参加（2月）
- (2) 分科会の活動（通年）
- (3) ニュース「やまびこ」の発行（1期2年間に3回発行）

18 《新規》横浜国立大学留学生の地域交流推進事業【571千円】

地域と留学生との交流を通じて、地域活動の担い手の確保や地域の活性化を図ります。また、地域での活動やイベントへの参加などを通じ、留学生が日本の文化に触れる機会を増やすことで、日本や横浜、保土ヶ谷の魅力を再発見してもらうとともに、留学生が地域に対して、自国の文化を発信する機会を増やすことにより、地域との交流を促進します。

- (1)「ほ도가や花フェスタ 2019」への出展（アフリカ諸国出身の留学生による国際交流）（5月）
- (2)地域主催イベントへの参加（地域との交流、日本文化の理解促進）（8月）
- (3)「令和元年度ほ도가や区民まつり」への出展（留学生による国際交流）（10月）
- (4)ほ도가や国際交流ラウンジ主催「国際フェスタ」への出展（留学生による国際交流）（11月）
- (5)地域主催イベントへの参加（地域との交流、日本文化の理解促進）（11月）

19 ほ도가や区民まつり【4,800千円（前年度4,500千円）】

区民や区内各種団体の交流促進及びコミュニティの再生のため、区民が主体となって企画・運営を行い、区民が参加する「区民まつり」を開催します。

- ・開催日：令和元年10月19日（土）
- ・開催場所：県立保土ヶ谷公園

20 自治会町内会支援事業【3,391千円（前年度2,871千円）】

自治会町内会が市政・区政推進の基盤となることを目的として、地域活動の根幹となる自治会町内会活動を支えます。（通年）

21 ほ도가や☆元気村【611千円（前年度640千円）】

保土ヶ谷区に残る唯一の水田という貴重な地域資源を活用し、児童・生徒をはじめ多くの区民の多世代交流の場を作ります。また、実行委員（ボランティア）による自主企画事業の企画・運営等の活動を通して、地域の新たな担い手として活躍していただくきっかけを作ります。

【主なスケジュール】

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 4月 開講式（牛乳パックで稲の種植え） | 5月 田おこし |
| 6月 代かき、田植え | 7月 ジャガイモ収穫、草とり |
| 8月 かかし作り | 9月以降 大根の種まき、稲刈、収穫祭など |

22 市民活動支援事業【4,616千円（前年度3,313千円）】

市民活動・生涯学習活動の拠点として、地域で活動する区民や団体間の連携・協働の支援への意識を持って、地域に密着したきめ細やかな支援を行います。（通年）

23 はぐくみプロジェクト【2,139千円（前年度1,960千円）】

区民が地域に関心を持つきっかけをつくり、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる主体性のある人材の発掘・育成を行います。また、区民利用施設が連携して地域活動を活性化する体制づくりを目指して、施設職員・区職員のスキルアップと情報共有を図る研修を実施します。（通年）

24 障害者地域支えあい連携推進事業【1,017千円（前年度817千円）】

障害者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、保土ヶ谷区地域自立支援協議会を中心に障害者地域活動ホーム、福祉事業所、地域ケアプラザ等関係機関相互の連携強化を図るほか、人材育成、障害者の社会参加の機会拡大及び地域の理解向上等の普及啓発活動を行います。

- (1) 自立支援協議会の開催（全体会：1回、専門部会：約80回）（通年）
- (2) 人材育成等に関する研修の開催（7月、2月を予定）※その他別途調整中
- (3) 福祉事務所の自主製品販売促進により、障害者の社会参加を目指します。
 - ・ 区役所での販売：夏季及び年末年始を除き、原則として開庁日の毎日
 - ・ 区民まつり等イベント開催時
 - ・ イオン天王町店：原則として毎月第4水曜日

25 保土ヶ谷ほとなまちづくり推進事業【2,089千円（前年度1,303千円）】

第3期保土ヶ谷ほとなまちづくり（地域福祉保健計画）（計画期間：平成28年から令和2年まで）を推進します。また、アンケート調査・分析を行い、第4期計画の策定に資する情報を整理します。それぞれの地域が、様々に抱える課題に対し主体的に取り組を進められるよう、また、各地区において第4期計画の策定に向けた検討が進むよう、地区支援チームが支援します。

- (1) ほとなまちづくり推進会議（6月、10～11月、2月）
- (2) 地区別計画の支援（通年）
- (3) リーダー会議（4月、2月）
- (4) 区民アンケート調査（5～6月）を行い、第4期骨子を策定（3月）

26 地域見守り推進事業【1,274千円（前年度1,277千円）】

ひとり暮らし高齢者等が地域でつながりを持ち、孤立せずに安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員だけでなく、地域にお住いのあんしん訪問員（ボランティア）が民生委員・児童委員を通じて、区役所や地域包括支援センター等と連携しながら継続的に見守ります。また、あんしん訪問員とともに地域の見守り等を行っている、民生委員・児童委員の活動を補佐する協力員を配置し、物理的・精神的負担軽減を図るとともに、その活動を地域住民に正しく理解していただくための広報・啓発を行います。

- (1) 各地区推進委員会へあんしん訪問事業補助金を交付（6月）
- (2) 民生委員・児童委員協力員の委嘱（毎月1日付で委嘱）
- (3) あんしん訪問事業全体研修会の開催（2月）
- (4) あんしん訪問事業地区推進委員会区連絡会の開催（3月）

◆ 魅力あるまちづくり 【19,923千円】

自然や歴史・文化などの地域資源を生かした取組や、鉄道駅周辺のまちづくり、交通ネットワークの向上等、持続可能なまちづくりを推進するとともに、区の魅力を高めて発信し、地域への愛着を育みます。

27 歴史浪漫ほ도가や事業【2,719千円（前年度2,035千円）】

旧東海道の宿場町に代表される保土ヶ谷区ならではの歴史的魅力を生かしたまちづくりを、区民や他の関係区局と協働で進めます。

(1) 旧東海道PR（子ども向け講座（7月）、区民まつり出店（10月）、スタンプラリー（10月）、まちあるきイベント（2月）

(2) 歩きやすい街道づくり（連続的な案内の検討及び案内サイン等の維持管理）（通年）

28 《新規》星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業【5,000千円】

相模鉄道本線（星川駅～天王町駅間）連続立体交差事業による高架化を契機に、駅周辺の開発の機運が高まっています。地区の魅力を高め区心部の拠点性をさらに強化するため、星川駅周辺地区のまちづくりガイドラインを検討・策定します。

(1) 星川駅周辺の都市計画状況についての現況調査や土地利用の方針別整理（通年）

(2) 地域の代表者や学識経験者等から構成される懇談会の開催（9月）

(3) ガイドラインの策定（3月）

※あわせて、踏切解消や駅前広場・周辺道路の整備を踏まえたバス路線の検討（通年）

[区局連携促進事業費3,000千円]

29 保土ヶ谷商工業支援事業【668千円（前年度708千円）】

地域コミュニティの担い手である商店街の活性化を図るため、区商店街連合会に加盟する商店が一堂に会して商店街をPRする場を提供、また様々な広報媒体を活用しながら、商店街の活性化を支援します。さらに、商店街だけでなく製造業を含む企業の支援も行います。（通年）

30 地産地消推進事業【450千円（前年度320千円）】

農家・地域活動団体・区役所が協力し、区民が「農」を身近に感じられる取組を通じて、区内の農業振興を図るとともに、地産地消の取組を進めます。

(1) ほ도가や朝市の開催（毎月）

(2) 地産地消のPR（花フェスタへの出展 5月、区民まつりへの出展 10月）

31 国際文化理解事業【1,300千円（前年度1,100千円）】

国際文化の理解を深めるため文化紹介事業を実施し、ブルガリアをはじめとする多文化共生の実現を目指します。（通年）

32 花薫るきれいな街ほ도가や事業【4,492千円（前年度5,012千円）】

※統合事業費「3 クリーンタウンほ도가や事業」に一部移行

次世代につなげる魅力あるほ도가やのまちづくりをめざし、「ヨコハマ3R夢プラン」事業の推進と街の美化事業に取り組みます。（通年）

	<p>33 読書活動推進事業【650千円（前年度200千円）】</p> <p>区役所・図書館・学校・区民利用施設等が連携し、読書活動の啓発やボランティア養成講座などを実施することで、保土ケ谷区民の読書活動を推進します。</p> <p>【主なスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本、紙芝居教室（8月、10月、11月） ・音読教室（9～10月） ・図書修理ボランティア（11月、12月） ・読み聞かせサポーター入門講座（1～2月） ・保土ケ谷区読書活動推進講演会（1月）
	<p>34 保土ケ谷区芸術の街【3,047千円（前年度2,847千円）】</p> <p>保土ケ谷区内の文化活動による地域振興を目指して、区民文化祭、区民ギャラリー、区民密着型コンサート及び区の歌普及の各事業を実施します。（通年）</p>
	<p>35 保土ケ谷区ガイドマップ作成事業【1,597千円（前年度1,722千円）】</p> <p>保土ケ谷区に転入する区民へ生活に必要な情報を提供します。※原則隔年で作成</p> <p>(1)発行時期：令和2年2月予定</p> <p>(2)発行部数：25,000部</p> <p>(3)掲載内容：地図情報、バス路線図、防災情報、主な公共機関の連絡先等</p>
<p><信頼される区役所づくり～「チーム保土ケ谷」の強化～>【13,077千円】</p> <p>来庁者の用件等を丁寧に傾聴し、信頼され、親しまれるサービスを提供します。窓口サービスの効率化や利便性の向上を追求し、正確・適正な事務の執行を実践します。また、庁舎等の環境整備に取り組みます。</p>	
	<p>36 区総合調整事業【2,000千円（前年度2,000千円）】</p> <p>保土ケ谷区の基本目標である「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現に向け、予算編成時に想定していなかった緊急的・突発的な課題に対し、機動的かつ柔軟に対応します。（通年）</p>
	<p>37 「利用しやすい区役所」推進事業【9,603千円（前年度13,128千円）】</p> <p>区民が安心して快適に利用できるよう区庁舎・区民利用施設の環境を整備・改善し、区民サービスを向上します。（通年）</p>
	<p>38 窓口サービス向上事業【724千円（前年度724千円）】</p> <p>職員の応対マナーや人権感覚の向上を図るとともに、業務改善に取り組むことで、職員一人ひとりが区民への傾聴の姿勢を持ち、丁寧かつ迅速な対応を基本としたサービスの提供を行うことのできる、区民から信頼される区役所づくりに取り組みます。</p> <p>(1) チーム保土ケ谷づくりプロジェクト（通年）</p> <p>(2) 職員接遇研修の実施：「応対マナー研修」（6月）、「クレーム対応研修」（9月） 「CSリーダー研修」（10月～11月）</p> <p>(3) 人権啓発研修の実施（5月～12月）</p> <p>(4) 業務研修の開催（～2月）</p>

	<p>39 統計便覧作成事業【277千円（前年度279千円）】 保土ヶ谷区に関する各種統計調査情報を便覧の形式で発行し、区民に提供します。（3月）</p>
	<p>40 保土ヶ谷区GIS活用推進事業【473千円（前年度1,015千円）】 各種統計情報や業務データ等を地理空間情報として整備し、GIS（地理情報システム）で扱うことで、客観的な情報分析や分かりやすい資料作成を可能にし、政策立案力や庁内情報共有環境の向上を目指します。GISの活用推進にあたり、課職員のスキル向上を行います。</p> <p>(1)GIS環境の整備（通年） (2)政策立案力の向上に向けたGIS活用のための人材育成（通年）</p>
<p>（参考）令和元年度未計上の事業</p>	
	<p>41 消費生活対策事業【前年度101千円】 統合事業費に全面移行</p>
	<p>42 学校・家庭・地域連携事業【前年度720千円】 統合事業費に全面移行</p>
	<p>43 おやじの会活動支援事業【前年度99千円】 事業終了</p>
	<p>44 都市計画マスタープラン・地域別構想の改定業務【前年度1,000千円】 事業終了</p>

(4) 統合事業費一覧（17,483千円・7事業）

<p>1 広報よこはま発行业【7,794千円】 ※自主企画事業費「17 広聴の区民協働事業」から一部移行 区政情報を幅広く区民に伝えるため、広報よこはま区版を発行します。発行にあたっては、新たに策定した制作コンセプトに基づき、区民の視点に立って、見やすく読みやすいデザイン・レイアウトで紙面づくりを行います。また、横浜国立大学の学生が作成したコラム記事を掲載する等、若年層の読者を増やす取組を行います。（通年）</p>
<p>2 広聴の相談事業【710千円】 ※自主企画事業費「17 広聴の区民協働事業」から一部移行 区民の多様な相談事項に応じて、法律相談等の機会を提供します。（通年）</p>
<p>3 クリーントウンほどがや事業【668千円】 ※自主企画事業費「32 花薫るきれいな街ほどがや事業」から一部移行 次世代につなげる魅力あるほどがやのまちづくりをめざし、「ヨコハマ3R夢プラン」事業の推進と街の美化事業に取り組みます。（通年）</p>
<p>4 消費生活対策事業【101千円】 ※自主企画事業費「41 消費生活対策事業」から全面移行 地域社会の安全で快適な消費生活を実現するため、悪質商法対策や消費生活向上に向け普及啓発を図ります。（通年）</p>
<p>5 スポーツ推進委員事業【3,540千円】 ※自主企画事業費「7 スポーツの街ほどがや推進事業」から一部移行 誰もが身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを推進し、スポーツを通じた区民の暮らしの充実やまちの活性化を図ります。（通年）</p>
<p>6 青少年指導員事業【3,710千円】 ※自主企画事業費「9 青少年健全育成事業」から一部移行 青少年の健全育成を行うため、区または地域において青少年を対象にした事業を実施します。また、青少年の健全育成活動を推進する人材の育成及び研修事業を実施します。（通年）</p>
<p>7 学校・家庭・地域連携事業【960千円】 ※自主企画事業費「42 学校・家庭・地域連携事業」から全面移行 青少年の非行防止や健全育成を推進するため、学校・家庭・地域が連携し地域の特性を生かしながら自主的に実施する事業を支援します。（通年）</p>

3 当区からの提案に基づく企画事業

(1) 《参考1》区局連携促進事業

関連局と連携して様々な事業を戦略的に行うための所要額を事業所管局予算として計上しています。

(単位：千円)

細目事業名	予算額	概要
星川駅周辺のバス交通アクセス向上検討事業 (相模鉄道本線(星川～天王町駅間)全線高架化を契機としたまちづくりの推進(4,000)の一部)	3,000	連続立体交差事業による星川駅周辺の道路整備を契機に、バス交通に関する地域意見を広く聴取するとともに、バス事業者と調整し候補路線を選定した上で、周辺交通の現況把握やアンケート等、地域の交通需要についての調査を実施します。 (事業所管局：道路局) (1) 地域交通に関する星川駅周辺の現況把握とアンケート調査実施範囲の検討 (9月) (2) アンケート調査の実施(11月～12月) (3) アンケート結果の集計・分析(3月)
緊急時情報システム運用試行事業	290	双方向機能を有する電話を利用した緊急時情報システムの運用及び検証を行います。 災害等に関する緊急情報を、電話を利用して、区から直接、防災・減災活動の核である、地域の防災組織の長(自治会町内会長)に対して発信し、あわせて、双方向機能を活用したシステムを試行実施し、実務上の課題と事業効果を検証します。 (事業所管局：総務局) (通年)
合計	3,290	

(2) 《参考2》 元気な地域づくり推進事業

市民局からの予算配付を得て、自治会町内会をはじめとする地域の様々な主体が連携して行う課題解決の取組を支援します。

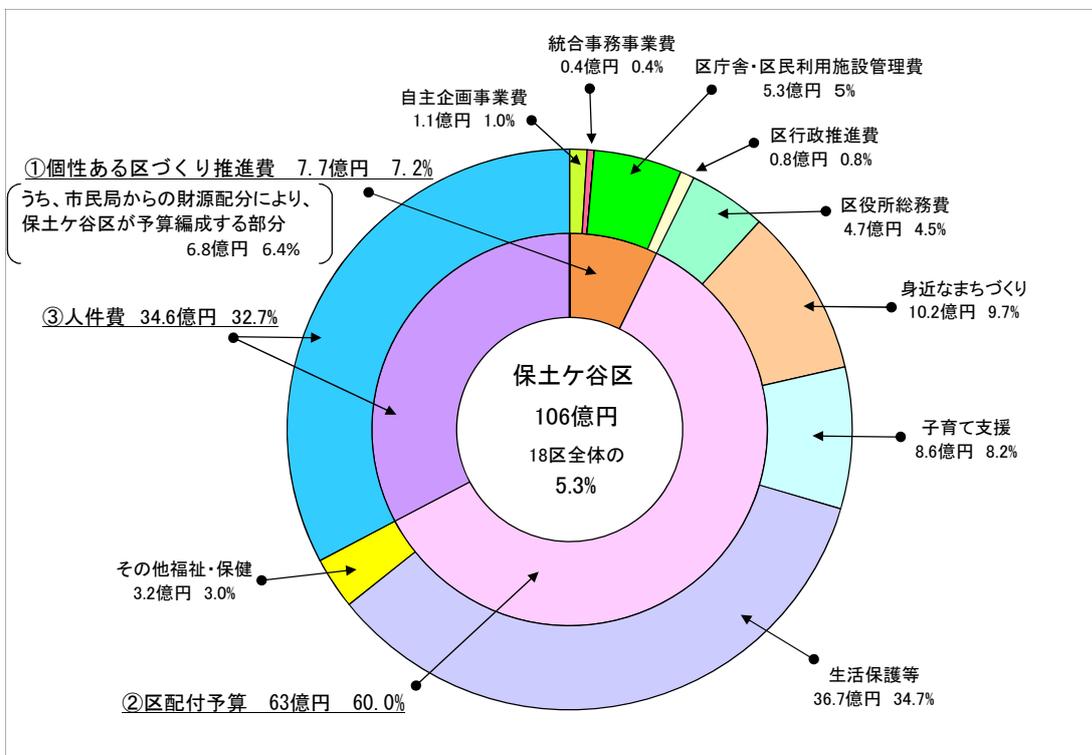
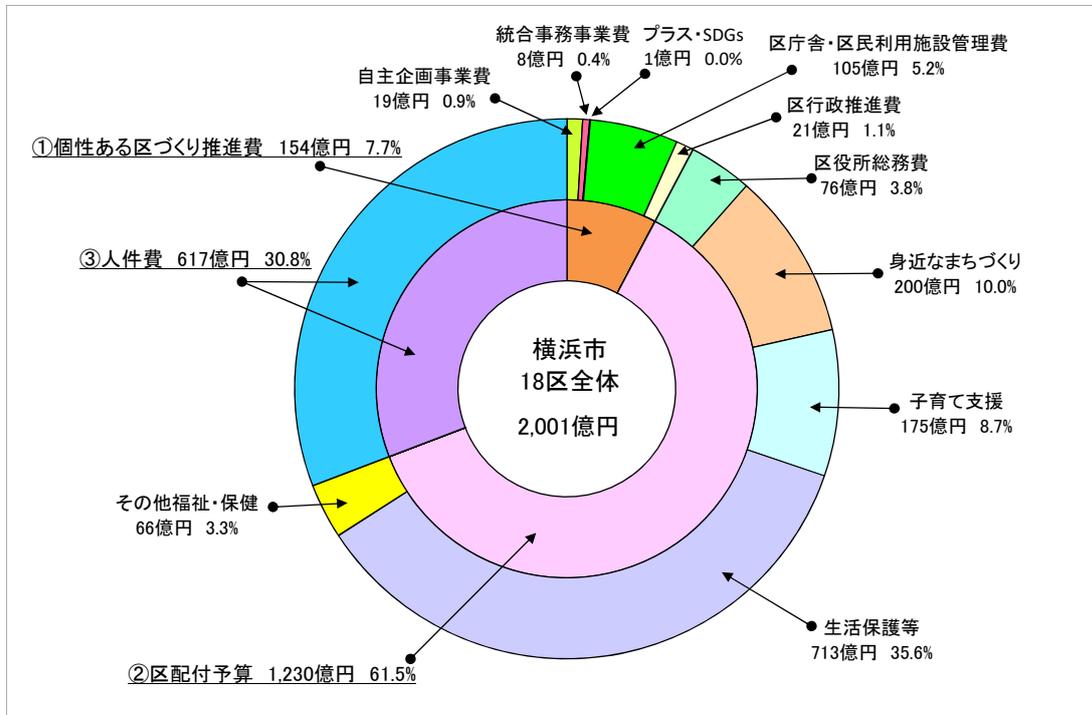
(単位：千円)

細目事業名	予算額	概要
“輝け、地域力！”事業	1,836	自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携し、自らが地域の課題を解決するための取組に対し、補助金を交付します。また、地域組織づくりへの支援として、地域活動団体の取組等を掲載した広報誌を作成します。(通年)
地域・まちづくり活動支援事業	1,432	地域・まちづくりにつながる社会的公共性を持つ市民活動を支援し、「区民との協働による個性豊かな地域づくり」の推進を図るため、事業費を補助します。(通年)
保土ヶ谷ほっとなまちづくり 地区別計画推進事業	1,072	保土ヶ谷ほっとなまちづくり(地域福祉保健計画)地区別計画は、地域の様々な人や活動団体と区役所等の関係機関が協働して取り組む計画です。地区別計画の推進や課題の解決を支援することにより、区民主体の地区運営を進めてまいります。 (1) 地区懇談会等への外部アドバイザー派遣による地区別計画推進支援(通年) (2) 地区支援チーム(区、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ)による地区支援(通年) (3) ほっとなまちづくりフォーラム開催(12月) (4) 地区別データ集配付(11月)
地域づくりプロジェクト 「ほどがや ^{がっこう} 楽考」	1,200	協働による地域づくりを目指し、次代の地域活動を担う区民と区職員と一緒に、身近な地域課題の解決方法などを学ぶ場として、「ほどがや ^{がっこう} 楽考」を開講します。 (1) ほどがや楽考の実施(6～11月)
合 計	5,540	

《参考》

保土ヶ谷 区に係る予算のすがた（令和元年度一般会計予算）

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市の一般会計の規模は1兆7,615億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人件費を含む）は2,001億円です。



注：各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

主な事業内容

市民局からの財源配分により、保土ヶ谷区が予算編成する部分 680百万円

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	765	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	105	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	42	広報よこはま各版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
温暖化プラス事業 区SDGs未来都市推進事業	0	区役所や地域における温暖化対策の取組や、区役所が地域特性を生かした事業を提案し、SDGs未来都市を推進するための事業費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	533	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区行政推進費	84	嘱託員やアルバイトに係る経費です。
区配付予算	6,343	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	472	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	108	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	18	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	5	各種統計調査を行うための経費です。
その他	341	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	1,024	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 1,140 百万円
道路修繕費等	789	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	53	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(116)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	183	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	863	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
民間保育所運営	0	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費です。
市立保育所運営	298	市立保育所4箇所の運営経費です。
放課後児童健全育成	398	地域の理解と協力のもと、保護者の就労等の事情により、留守家庭となる児童の保護及び遊びを通じた健全な育成を行う放課後児童クラブ運営委員会への補助金などです。
その他	167	小児医療費助成、児童手当・児童扶養手当の支給などを行います。
生活保護等	3,668	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	3,647	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	21	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	315	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	119	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	25	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
その他	171	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
人件費	3,460	
職員人件費	3,460	総務局人事部労務課公表「平成31年度職員人件費予算の目安」より
合計	10,568	(※) 下水道事業を含む 10,684 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。
(現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)

平成31年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

区名	番号	項目	提案内容の概要	所管局名	対応 ※一部対応含む
保土ヶ谷	1	生活保護受給者に対する家計相談支援事業	生活保護受給者に対する家計相談支援事業の局事業化	健康福祉局	○
保土ヶ谷	2	相模鉄道本線(星川～天王町駅)全線高架化を契機としたにぎわいあるまちづくりの推進について	地域ニーズや駅前広場の整備計画をふまえた、バス路線の新設又は既存路線の延伸等の検討に向けたアンケート等調査	道路局	○
保土ヶ谷	3	地域防災拠点への職員動員計画の見直し及び地域防災協力員制度の創設について	1 31年度の職員動員計画の策定に向けた基本方針等の見直し 2 地域防災協力員制度の創設に向けた要綱等の策定	総務局	-
保土ヶ谷	4	保土ヶ谷区総合庁舎の浸水対策と消防局移転後の跡床活用計画検討について	消防局の移転に合わせた、本館地下1階にある機械室や非常用自家発電機の上階移設に関する調査・検討	市民局	○
保土ヶ谷	5	坂本小学校通学路の安全対策のための待避スペースの整備について	坂本小学校通学路における、横断歩道周辺の水道局所管用地を活用した待避スペースの整備	水道局	-
保土ヶ谷	6	現上菅田小学校の学校施設の建替え期間における遠距離通学支援について	上菅田小学校・笹山小学校統合及び建替えに伴う遠距離通学支援策として、スクールバスの試験運行や検討調査の実施	教育委員会事務局	○
保土ヶ谷	7	バリアフリー基本構想を住民が提案する際のコーディネーターの派遣、支援について	住民主体のバリアフリー基本構想作成の際、検討および資料作成への助言・指導などを行うコーディネーターの派遣・支援	道路局	-
保土ヶ谷	7	バリアフリー基本構想を住民が提案する際のコーディネーターの派遣、支援について		都市整備局	-
保土ヶ谷	8	ほどがや地区センター体育室の設備改善について	体育室の天井改修工事と並行して、体育室の音響機器及び女子トイレの改修	市民局	-
保土ヶ谷	9	母子保健支援機能の強化(子育て世代包括支援センター)と虐待対応調整機能の強化(虐待対応調整チーム)による切れ目の無い子育て支援の推進について	1 虐待対応について、通告対応から継続支援にむけた調整まで、迅速かつ確に行えるような機能強化 2 母子保健について、妊娠期から出産後にかけての相談機能強化	こども青少年局	○
保土ヶ谷	10	権太坂境木地区バス路線新設に伴う舗装改修について	バスの路線化に伴う生活道路の計画的な補修の実施	道路局	○
保土ヶ谷	11	地域防災拠点まで起伏が多く距離がある地域における通信手段の確保について	通信手段の確立のため、市立ろう特別支援学校に常設のデジタル移動無線機の設置	総務局	-
保土ヶ谷	12	既存システムを活用した防災用屋外スピーカーの設置について	星川駅、和田町駅周辺に河川の水位及び雨量を知らせるため、防災用屋外スピーカーの設置	総務局	-
保土ヶ谷	13	市民病院跡地を利用した地域住民など市民が集える場の整備について	市民病院跡地の整備計画検討にあたり、レストハウスや集会所といった地域住民などが集える場を設けることを含めた検討	医療局病院経営本部	○
保土ヶ谷	14	区民文化センターの整備について	保土ヶ谷区内に区民文化センターを整備するための検討	文化観光局	-
保土ヶ谷	15	保土ヶ谷駅東口のまちづくり推進とバリアフリー化について	1 保土ヶ谷駅東口まちづくりの推進 2 県税事務所跡地の有効利用 3 保土ヶ谷区バリアフリー基本構想を踏まえた保土ヶ谷駅東口駅前広場の改良、エレベーター設置	都市整備局	○
保土ヶ谷	15	保土ヶ谷駅東口のまちづくり推進とバリアフリー化について		道路局	○
保土ヶ谷	15	保土ヶ谷駅東口のまちづくり推進とバリアフリー化について		健康福祉局	○
保土ヶ谷	16	保土ヶ谷宿を未来につなげるまちづくり事業	「旧東海道『保土ヶ谷宿』を未来へつなげるまち・みち再生計画」に基づく施設整備	道路局	○

平成31年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

区名	番号	項目	提案内容の概要	所管局名	対応 ※一部対応含む
保土ヶ谷	17	神奈川東部方面線の整備に伴う西谷駅の駅舎改良を含めた駅周辺の基盤整備等の推進について	1 駅へのアクセス性と安全性の改善と、商店街活性化に向けた検討 2 駅周辺の歩行者動線のバリアフリー化、駅前広場やバスターミナル等の整備、国道16号の拡幅等の検討 3 生活利便施設等の併設整備の検討	都市整備局	○
保土ヶ谷	17	神奈川東部方面線の整備に伴う西谷駅の駅舎改良を含めた駅周辺の基盤整備等の推進について		道路局	-
保土ヶ谷	18	今井川の河川改修と保土ヶ谷橋の架替えの一体的な事業推進について	1 今井川の河川改修及び保土ヶ谷橋の架替えの連携した実施 2 拡幅整備に伴い、歴史性を考慮した沿道修景の実施 3 所有者意向を踏まえた建物の補修や曳家等の保全措置	道路局	○
保土ヶ谷	19	桜ヶ丘コミュニティハウスの駐車場整備について	施設隣接の市営住宅駐車場を活用し、コミュニティハウスの駐車場の整備や貸与についての検討	建築局	-
保土ヶ谷	19	桜ヶ丘コミュニティハウスの駐車場整備について		市民局	-
保土ヶ谷	20	地区センター体育室への空調設備導入について	安心・安全な利用環境を整備するため、各地区センターの体育室に空調設備を設置	市民局	○
保土ヶ谷	21	保土ヶ谷三丁目とまち広場への健康器具の設置について	公園として環境創造局に移管した後、健康器具(「ぶら下がり」「背伸ばしベンチ」「腹筋ベンチ」「腰ひねり」の4種)の整備	環境創造局	-